

木の実幼稚園 関係者評価表

☆評価年月日 R4年9月28日

☆評価者ご芳名(山道 陽平)

評価項目No.	評価~本園の行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。
1	登園自講や学級閉鎖の大抵が迅速でとても良かったと思うが、いつも検討して改善すべきだなと思いつながら、分散登園の際、男女別々にした事か、シンクース社会の中で少し疑問が生じ、木の実幼稚園らしいなーと感じました。 参観はビデオ配信をしてくれたり、1ヶ月で月リースペースで実施され車で感染対策も講じながらの又次大手でいる事かと思います。運動会も前回よりもとても観覧もしやすくなり良かったです。全て行事において子どもの率から内容や実施場所、方法を都度話し合って決めていく所が子どもの「やりたい」という意欲で大変に走るくれているのだと感じ親子で一緒に園生活を樂む事が出来とても感謝しています。
2	より丁寧な保育をする為に、各クラス25名以下を設定しクラスの増築はとても良いと思います。又、室内の家具、備品の見直しに比べて年長の子はとても興味深く子どもの発達について考えて下さっていることを感じさせての子どもの興味や関心を引き出す環境作りながらのあら保育の実践がしやすく五感を育てる事に充分整っており環境で子どもが自由に見て触れて、考え方、やつづきたりすることが出来るのは良いと思います。 参観、運動会、造形展など行事ごとに担任の先生が子どもの様子工話を下さりとても樂しかっております。毎回何回かアロジックアローチの実践発表で各担任の先生が緊張しながらも自信を持って樂んでる様子が1年間の子どもの様子工発信になります。1年間こんなに樂しい事を行なうが、113人が事に気が付く、実験し失敗し、学び、また挑戦している事を知る事ができ、成長したなと思うと同時に本当に子どものことをよく見て下さっているなと感謝しております。
3	このようないい園の運営、取り組みをしていて日本は日本の保育環境がより良くなる事を願っています。児童が100%樂しみにしてあります。 キレイで素晴らしい園舎、楽しい道具等大事ですが、子どもたちにとって何よりも大切なのが、信頼できる先生がいる事、先生が毎日、楽しく、付けて1213事が必要不可欠だと思います。そんな先生の待遇改善に取り組み、ライフスタイルに合わせた働き方を選ばないようにす夢で先生の心の余裕が生まれます。どんな立場の人でも同じように学び工得する事で园の環境がより一層の保育の質の向上につながります。
4	本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。 長女、長男につけた次女と計6年間お世話になりました。長女がお世話にならぬ7年前から今まで融資のみなさまがいつも元気で明るく、丁寧に、外から見えてたのですが、仲良くなれない雰囲気がまことに変わらざる事に安心して子どもをお預りさせています。 私が子どもの「やつづき」という気持ちに寄り添う「アロジックアローチ」がめちゃくちゃ早いことに感心していました。 幼稚園へ帰ってきて「今日は以さん作つん!」「今日はこんなとした!」と自慢げな顔で話してくれる娘の姿をみて木の実幼稚園に通わすことができて本当に良かったなーと思つております。それも園長先生から新任の先生までの風通しの良さとキレイへの危機感が表れていたなと覺えます。次、どんな展開になり

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。
子どもが幼稚園でどんな経験をしても、成長していき、また自慢げな顔で話してくれるのを樂しいに来ております。これからもよろしくお願ひします。

木の実幼稚園 関係者評価表

☆評価年月日 2022年9月29日

☆評価者ご芳名(長崎 頌子)

評価項目№	評価～本園の行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。
1	イベントに関して、分散型で、より先生方の負担が増える中、常に子供の目線に立ってイベントを考えてくださいり、イベントが開催される事についてとても感謝しております。感染対策を徹底した上で、開催していただいた事で、安心して参加させて頂く事ができました。
1	コロナ禍での保護者と園との関わりについてですが、木の実幼稚園の保育の特性上、前もって保育の内容を把握することが難しく、なかなかリアルタイムでの保育の状況を知ることが困難でした。結果、子供から、『先生に○○については調べてきてね』って言われたと言われても、質問の内容を深く理解する事が難しい事が多く、的外れな回答をしてしまったり、クラス通信を頂いた時には、子供の記憶は薄れ、興味が他のものに移ってしまっている事が多々ありました。コロナ禍でなかなか保護者が保育に参加させて頂く事が難しいのが現状です。新たな保護者の関わり方として、クラス単位でのSNSの発信など、新しいツールの活用など検討していくだけると、家庭でのコミュニケーション、より深い学び、保育の参加に繋がっていくのではないかと考えます。
2	娘のクラスは、25名以下でしたので、目の行き届いた保育を受けることができていると感じます。ですが、木の実幼稚園の保育の特性上、担任の先生方の負担、また先生個人のキャリア、スキルが問われる保育であることも事実であることから、より充実した幼児教育実現のためには、25名以下の園児にする事に加え、複数のクラスを担当する副担任を設けるなど、副担任制の導入なども検討して頂きたいです。
3	プロジェクト型の保育の中でも、木の実幼稚園の、プロジェクト学習は、常に、大人目線ではなく、子どもたちの興味や関心に寄り添い、保育が進んでいく、子供達のワクワクが詰まった保育だと感じています。子供達と話し合いながら、いっしょに試したり、工夫したりして遊びや活動を広げる、木の実幼稚園の素晴らしい取り組みが、より多くの保育の現場へ広がることを望みます。
4	担任手当についてですが、担任という負担の大きいポストに見合ったものであり、また現在の社会情勢にも沿ったもので評価できると考えます。
本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。 木の実幼稚園の魅力は、園長先生をはじめ、先生方の、優しい笑顔と細やかな心配りだと思います。家庭では見れない一面や、小さな成長も見逃さず、それぞれの子どものいいところにフォーカスし、認めて下さる事によって、子ども達は、自信を持ち、何事にも意欲的に取り組む事ができるのだと思しております。 常に子供達と同じ目線に立ち、子ども達と一緒に考えていただいているお陰で、子ども達も、のびのびと自分達の興味に没頭、興味を掘り下げ、何事にも意欲的に取り組む事ができているのだと思います。 大切な幼児期を木の実幼稚園で過ごす事で、自主性や協調性、思いやりを身につける事ができました。 日々の保育で大変な中、毎日、変わらず優しい笑顔で子ども達を包み込んでいただき感謝の気持ちでいっぱいです。 家庭でも、先生方から教えて頂いたことを忘れずに子供の成長を楽しみ、見守っていきたいと思います。	

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。

木の実幼稚園 関係者評価表

☆評価年月日 R4 年 9 月 28 日

☆評価者 姓(関谷 典子)

評価項目No.	評価~本園の行った自己評価の項目についてご意見、ご感想を自由に御記述下さい。
1	コロナウイルスが日々変異をくり返す中、子ども達の飛沫の場ほど早い行事を無くすのではなく、感染対策を適切に行い実施されていることに感謝の気持ちでいっぱいです。子ども達がいかに楽しめるかを考え、新たに発見をして遊びへ飛躍させることが出来るよう内容を工夫されていることは、娘が帰宅してからのいきいきとした表情で伝わってきます。大人も子どもも、マスクを外して笑顔で参加、ということはまだ難しそうですが、今後の行事などでどんな顔を見せてくるのか楽しみです。
2	1クラス25名以下という人数設定のおかげで一人ひとりと向き合いより丁寧で質の高い保育を受けることが出来ています。そのための環境を整える=増築することは非常に嬉しいです。木の温もり溢れる保育室は子ども達の心を優しく包んでくれます。新ホールも子ども達にとって落ち着つく空間になると良いな、と思います。
3	木の実幼稚園ではこのプロジェクト型保育が書籍化されています。今現在働いている先生方はもちろん来年の先生方にも良い刺激になります。子ども達の「気づき」を大切にし、子ども主体の保育が各所で実施されることを切に願います。
4	少人数とはいえ、幼稚園を日々見守り保育を進める担任の先生方の努力は保護者の想像をはるかに越えるものだと見えます。子ども達のために毎日有難うございます。より良い保育のために日々模索し研究されている先生方にはその相応の待遇は必須だと見えます。 保育士不足・教職員不足は未だに改善されることはなく現場では起っています。家事・育児をしながらでも働ける環境を整えられていることは素晴らしいことだと見えます。保育士・教職員の人数が確保出来ることで支援を必要とする子どもさんも安心して通えるのだと見えます。また一人ひとりに合わせた支援を真正理解するためにも先生方自身が学び后なる場があることは大切だと感じます。

本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想ありましたらお書き下さい。
 園長先生をはじめ先生方には子ども達を温かく見守り支えていたたまき先生には感謝します。入園当初、しばらく涙の日が続いたままかみと見ていましたが登園時に笑顔で挨拶してくれる先生方、連絡メモや電話で様子を伝えてくださる担任の先生のおかげで安心する事が出来ました。一人ひとりにしっかりと目を向けて関わっていたたまき、とても嬉しく思いました。元には4月から毎月来ています。園内にいる園長先生のお話です。園長先生のお話の中にはいつも「忘れてはいけない大切なこと」が書かれており、読みながら「ああ、うう」と気付かれます。6月号には「教える」ことの大切さが書かれていて読みながら泣いてしまいました。親としての大切なことはもちろん、先生方が何を大切に保育をされているのかが手に取ります。また「手で触れて園生達、どんな経験をして成長していくのかとても楽しみです。今後とも宜しくお願ひ、ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、感想は本園の今後のために有効に活用させていただきます。いたします。